AWARD

since 1968

公益財団法人 日本プロスポーツ協会

2022
会報誌［アワード］
創刊号
vol.1

スポーツでしか語れない
興奮、感動を。

福岡ソフトバンクホークス取締役会長
王 貞治
スペシャルインタビュー

NHK

©NHK･dwarf

あなたの手の中に
NHK+
NHKプラスはインターネットで
地上波放送番組を視聴できる
動画サービスです
https://plus.nhk.jp/

SPORTS
NHKスポーツ番組
総合情報サイト
https://www3.nhk.or.jp/sports/

夢と感動はあなたの受信料から

各種
お問い合わせ先
電話番号

放送受信契約のお申し込み･転居などのご連絡 フリーダイヤル 0120-151515 午前9時～午後6時(土･日･祝日も受付)
放送受信料に関するお問い合わせ ナビダイヤル 0570-077-077 午前9時～午後6時(土･日･祝日も受付)
番組についてのお問い合わせ ナビダイヤル 0570-066-066 午前9時～午後8時(土･日･祝日も受付)
※番号のおかけ間違いにご注意ください。

受信料のお手続きは
インターネットで
いつでもお手続きができます!

AWARD

会報誌［アワード］
創刊号 *vol.1*

表紙写真：王貞治
（報知新聞／アフロ）
巨人／ヤクルト23回戦、後楽園球場において通算756本塁打を放った一本足打法。1977年9月3日撮影。

Contents

公益財団法人 日本プロスポーツ協会の概要 …… 4
挨拶 代表理事 秋山政徳 …… 5
創刊の祝辞 内閣総理大臣 岸田文雄 …… 6
創刊の祝辞 文部科学大臣 末松信介 …… 7
内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞 選考要項 …… 8
歴代大賞受賞者 …… 10
歴代殊勲賞受賞者 …… 11
創刊記念 Special インタビュー 王 貞治 …… 12
パラスポーツ優秀選手① 車いすテニス 国枝慎吾 選手 …… 20
パラスポーツ優秀選手② 競泳・視覚障害クラス 富田宇宙 選手 …… 24
令和２年度 優秀選手・チーム紹介
川崎フロンターレ …… 26
井上尚弥 選手 …… 28
大坂なおみ 選手 …… 30
福岡ソフトバンクホークス …… 32
歴代の大賞受賞者 Part 1：1968～1974
日本プロスポーツ大賞の歴史 …… 34

公益財団法人日本プロスポーツ協会会報誌 AWARD

発行日：2022年８月８日
発行元：公益財団法人日本プロスポーツ協会
THE JAPAN PROFESSIONAL SPORTS ASSOCIATION（略称 J.P.S.A）
発行人：秋山 政徳
編集人：倉田 勝彦

● 所在地：東京都千代田区麹町１－３－23　麹町１丁目３番地ビル９階
● 電話番号：03－6272－4102
● FAX 番号：03－6272－4889
● URL：http://jpsa.jp
● E.Mail：info@jpsa.jp

JPSA

日本プロスポーツ協会では、SDGs（持続可能な開発目標）17項目のうち、8つの目標に尽力、貢献しております。
スポーツによってSDGsの目標達成に貢献するため2018年12月に定められた「Sports for Climate Action Framework」は、気候変動問題に対する枠組みです。
IOC、FIFA、東京2020組織委員会などの団体が署名し、スポーツによってSDGsの目標達成を目指す世界的な活動として注目されており、本協会もその取り組みに協力しています。
また、本会報誌“AWARD”においても環境へ配慮した資材調達などから持続可能な社会の実現に貢献しております。

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C153143

このラベルは、国際基準を満たす「適切な森林管理」をされた認証林からの木材やその他、リスクの低い原材料から作られた製品につけられるマークです。
Forest Stewardship Council®（FSC®：森林管理協議会）は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体です。

公益財団法人日本プロスポーツ協会の概要

設立沿革

本法人は、我国におけるプロスポーツ界の健全な発展と社会貢献及び国民のプロスポーツへの関心を高める目的として、1968年に日本プロスポーツ会議として発足しました。その後1990年に財団法人化を行い、2014年4月に公益財団法人に認定され、設立より52年間の歴史を有しています。主な事業活動として、「内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞」「功労者文部大臣顕彰（文科省）」、そして「NHK杯（日本放送協会）」等、表彰・国家顕彰の授与式を主催してまいりました。

目　的

プロスポーツの水準の向上と発展を図ることにより、国民の余暇活動の充実に資するとともに、プロスポーツ選手の社会的地位の向上を図り、並びに国民のスポーツへの関心を高め、もって我が国のスポーツの発展に寄与する。

事業内容

- プロスポーツの振興発展のための調査研究
- プロスポーツの進行に功績のあった者に対する表彰
- プロスポーツに関する内外情報の収集、提供及び出版物の刊行、その他の広報
- プロスポーツに関する国際交流の推進
- プロスポーツに関する講習会および研修会の開催

日本プロスポーツ会議及び日本プロスポーツ協会

歴代会長

7代目
島村 宜伸

6代目
森 喜朗

5代目
柳川 覚治

4代目
櫻内 義雄

3代目
中曽根 康弘

2代目
椎名 悦三郎

初　代
八田 一朗

挨拶

プロスポーツの力が求められる今、本協会の真価が問われています。

代表理事
秋山政徳

平素より、プロスポーツ関係者の皆様におかれましては、本協会に対し、格別なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて私儀令和2年3月31日開催の理事会におきまして、代表理事を拝命いたしました。そして、公益財団法人日本プロスポーツ協会は内閣府の指針に沿って、ガバナンスを強化するべく、3年間の準備期間を経て、新たな活動に向けて始動することになりましたので、一言御挨拶申し上げます。

コロナ禍により、世界各国の政治、経済はもとより文化及びスポーツに至るまで、社会全体が深刻な影響を受け、わが国のプロスポーツ界も苦難を強いられる日々が続きました。

さらに、かつての世界大戦時代を想起させるような、ロシアによるウクライナ侵略が、国際秩序と平和を脅かしています。斯様な状況のもと、1年間延期された東京2020オリンピック・パラリンピックに続き、2022北京冬季オリンピック・パラリンピックが、相次いで開催されました。

困難を乗り越えて限界へ挑戦するアスリートの姿は、多くの人に感動を与え、「多様性と調和」そして平和の大切さを訴えたことでしょう。

見る人に喜びと活力をもたらすプロスポーツの持つ力が求められる今、本協会の活動も以前にも増して重要になると認識しております。

もとより微力ではございますが、重責を担いましたうえは、全力で取り組んで参る所存でございます。本協会の運営に関わる諸官庁、内閣府、文科省および経済界、スポーツ界の皆様におかれましては、倍旧のご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本プロスポーツ大賞の式典は、選手の活躍を讃え、社会に公表することで、選手本人の栄誉と修養に寄与してきました。今後もその歴史と伝統を途絶えさせることなく、更なる発展を遂げるために、最善を尽くして参ります。

祝辞

内閣総理大臣
岸田文雄

日本プロスポーツ協会・会報誌「アワード」の創刊、誠におめでとうございます。

長年にわたり、我が国のプロスポーツの健全な発展のために御尽力されてきた貴協会が、時代の流れを機敏に捉え、新たな挑戦を始められることに深く敬意を表します。

私は、変化の大きいこれからの時代、新たな価値を生み出すのは、「人」の力であると確信し、「人への投資」の重要性を強く訴えています。

その意味で、選手の成績など、データの紹介にとどまらず、積み重ねてきた努力、思い、掲げる目標といった、プロスポーツ選手の「人」としての側面を重視し、取り上げていくという会報誌の方針は、時宜を捉え、大変意義深いものであると思います。

また、新たな会報誌では、障害者プロスポーツについても、脚光を当てていくと、聞いています。昨年、東京パラリンピックが開催されたことで、障害者スポーツに大いに注目が集まる中です。皆さんの取組が、我が国における障害者スポーツの新たな地平を開拓していくことを心より期待します。

新型コロナの感染拡大や、ロシアによるウクライナ侵略といった様々な困難に直面している時だからこそ、プロスポーツ界の皆さんが一致団結し、これからも、変わらず多くのスポーツファンに素晴らしいパフォーマンスを届けてくれることを、一ファンとして、とても楽しみにしています。多くの方が、皆さんの活躍によって、困難に打ち克つ勇気をもらっています。

最後になりましたが、プロスポーツ界の今後の益々のご発展を祈念し、私の挨拶といたします。

祝辞

文部科学大臣
末松信介

このたび、公益財団法人日本プロスポーツ協会の会報誌が創刊されましたことについて、心よりお祝いを申し上げます。

日本プロスポーツ協会は、1968年に日本プロスポーツ会議として設立されて以来、「日本プロスポーツ大賞」の表彰など、半世紀以上の長きに亘って我が国プロスポーツの振興・発展に貢献されてきました。改めて、貴協会のこれまでの功績を称えるとともに、長年の御尽力に敬意を表します。

近年、我が国のプロスポーツ界では、地域とともに成長しようとするスポーツ団体の活動が、地域の経済・社会の発展を担う存在として活発化しています。また、コロナ禍の困難な状況下においても、新しいプロリーグの立ち上げやデジタル技術を活用した観戦体験の創出など、プロスポーツの魅力向上に向けた積極的な取組が行われていると承知しています。

我が国のプロスポーツ選手が海外において活躍する姿が報じられる機会も格段に増加しています。プロスポーツ選手が繰り広げる高度な技術やレベルの高い試合は、子供たちをはじめとした国民に夢と希望を与え、社会全体に大きな活力をもたらすものです。スポーツの振興に取り組む文部科学省としても、こうした価値や魅力が広く国民や社会に還元されるよう、プロリーグや競技団体等、関係者と広く連携しつつ、プロスポーツの持続的発展を強力に後押ししていく所存です。

結びに、関係の皆様のたゆまぬ御努力に心から敬意を表しますとともに、貴協会が法人としての在り方を常に見つめ直しながら、今後、社会から信頼され、社会に貢献する存在として御発展されますことを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

内閣総理大臣杯 日本プロスポーツ大賞 選考要項

我が国のプロスポーツ界の健全な発展ならびに振興に寄与することを目的として、
1968年の第1回日本プロスポーツ大賞より毎年開催してきましたが、
2019年度と2020年度の表彰は当該協会に対する内閣府による指導を基に中止となりました。
大賞受賞者には、国家的表象として内閣総理大臣杯と賞状が授与されます。

選考基準

日本プロスポーツ大賞（1名）

当該年度1カ年にプロスポーツ界全般を通じ国籍を問わず、あらゆる意味で最も貢献度の大きい業績を残したと認められる選手及び団体（チーム）に与えられる。
本賞受賞者には内閣総理大臣杯と（公財）日本プロスポーツ協会会長杯と賞状、賞金が授与される。

殊勲賞（3名）

日本プロスポーツ大賞に次ぐ抜群の業績をたたえ得るもの。
大賞と同様に選手と団体（チーム）に限る。
本賞受賞者には（公財）日本プロスポーツ協会会長杯と賞状、賞金が授与される。

特別賞（数名）

当該年度に日本のプロスポーツ界に対する貢献が大きいと思われる選手と団体（チーム）に与えられる。
本賞受賞者には（公財）日本プロスポーツ協会会長杯と賞状、賞金が授与される。

最高新人賞（1名）

当該年度に新人賞に該当するプロスポーツ選手の中から最も貢献度の大きい業績を残した選手1名に与えられる。
本賞受賞者には（公財）日本プロスポーツ協会会長杯と賞状、賞金が授与される。

選出方法

日本プロスポーツ大賞・殊勲賞

スポーツ報道に携わる、東京運動記者クラブ（テレビ、ラジオ19社および新聞、通信社35社）のスポーツ記者の責任者で構成される選考委員による投票に基づき、選考委員の代表者立会いのもとで開票された結果を基に、理事会で審議を諮り、決議を経て決定する。

特別賞

理事会の審議を経て、理事会にて決定する。

最高新人賞

最高新人賞は、新人賞の中から選考委員（大賞、殊勲賞の選考委員と同メンバー）により選考後、理事会の承認を得て決定する。　なお、同点得票の場合は、選考委員代表者および理事会メンバーで決定する。

※大賞及び殊勲賞、特別賞、最高新人賞は本人に受賞の意思又は授賞式に出席の意思がない場合は当選無効とし、次点の者に繰り上げられる。但し、明確な理由があり、ビデオメッセージ及びリモート等は出席とみなし、代理人よる受賞を認める。

選考委員

朝日新聞社
朝日新聞国際本部
アール・エフ・ラジオ日本
RKB毎日放送
茨城新聞社
AP通信社
英文毎日
NHK
FM東京
FMNACK5
神奈川新聞社
河北新報社
共同通信社
埼玉新聞社
産業経済新聞社
サンケイスポーツ
Jスポーツ
時事通信社
信濃毎日新聞
下野新聞社
ジャパン・ニューズ
ジャパンタイムズ
上毛新聞社
スポーツニッポン新聞社
千葉テレビ放送
千葉日報社
中国新聞社
中日新聞（東京新聞）
中日新聞（東京中日スポーツ）
TBSFVE
TBSラジオ＆コミュニケーションズ
TVKテレビ
デイリースポーツ
テレビ朝日
テレビ埼玉
テレビ東京
東京スポーツ新聞社
東京メトロポリタンテレビジョン
道新スポーツ
新潟日報社
西日本新聞社
日刊スポーツ新聞社
日経ラジオ社
日本経済新聞社
ニッポン放送
日本テレビ放送網
FOXSPORTSジャパン
フジテレビジョン
文化放送
報知新聞社
北海道新聞社
毎日新聞社
夕刊フジ
読売新聞社
WOWOW

以上55社（50音順・敬称略）

2018年　大谷翔平（プロ野球）

日本プロスポーツ大賞 受賞式

2010年　白鵬 翔（大相撲）

2011年　なでしこジャパン（サッカー）

2013年　田中将大（プロ野球）

大賞歴代受賞者

1968年（昭和43年）	西城 正三（プロボクシング）
1969年（昭和44年）	読売ジャイアンツ（プロ野球）
1970年（昭和45年）	大鵬 幸喜（大相撲）
1971年（昭和46年）	長嶋 茂雄（プロ野球）
1972年（昭和47年）	松本 勝明（自転車競技）
1973年（昭和48年）	沢村　忠（キックボクシング）
1974年（昭和49年）	王　貞治（プロ野球）
1975年（昭和50年）	広島東洋カープ（プロ野球）
1976年（昭和51年）	王　貞治（プロ野球）
1977年（昭和52年）	王　貞治（プロ野球）
1978年（昭和53年）	ヤクルトスワローズ（プロ野球）
1979年（昭和54年）	具志堅 用高（プロボクシング）
1980年（昭和55年）	具志堅 用高（プロボクシング）
1981年（昭和56年）	中野 浩一（自転車競技）
1982年（昭和57年）	落合 博満（プロ野球）
1983年（昭和58年）	広岡 達朗（プロ野球）
1984年（昭和59年）	衣笠 祥雄（プロ野球）
1985年（昭和60年）	ランディー・バース（プロ野球）
1986年（昭和61年）	落合 博満（プロ野球）
1987年（昭和62年）	岡本 綾子（女子プロゴルフ）
1988年（昭和63年）	千代の富士 貢（大相撲）
1989年（平成元年）	千代の富士 貢（大相撲）
1990年（平成2年）	野茂 英雄（プロ野球）
1991年（平成3年）	辰吉 丈一郎（プロボクシング）
1992年（平成4年）	貴ノ花 光司（大相撲）
1993年（平成5年）	三浦 知良（サッカー）
1994年（平成6年）	イチロー（プロ野球）
1995年（平成7年）	イチロー（プロ野球）
1996年（平成8年）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）
1997年（平成9年）	中田 英寿（サッカー）
1998年（平成10年）	佐々木 主浩（プロ野球）
1999年（平成11年）	松坂 大輔（プロ野球）
2000年（平成12年）	松井 秀喜（プロ野球）
2001年（平成13年）	イチロー（プロ野球）
2002年（平成14年）	2002FIFAワールドカップ日本選手団（サッカー）
2003年（平成15年）	松井 秀喜（プロ野球）
2004年（平成16年）	朝青龍 明徳（大相撲）
2005年（平成17年）	朝青龍 明徳（大相撲）
2006年（平成18年）	ワールド・ベースボール・クラシック日本代表（プロ野球）
2007年（平成19年）	浦和レッドダイヤモンズ（Jリーグ）
2008年（平成20年）	石川　遼（男子プロゴルフ）
2009年（平成21年）	石川　遼（男子プロゴルフ）
2010年（平成22年）	白鵬　翔（大相撲）
2011年（平成23年）	なでしこジャパン（サッカー）
2012年（平成24年）	阿部 慎之助（プロ野球）
2013年（平成25年）	田中 将大（プロ野球）
2014年（平成26年）	錦織　圭（プロテニス）
2015年（平成27年）	ラグビー日本代表（ラグビー）
2016年（平成28年）	大谷 翔平（プロ野球）
2017年（平成29年）	福岡ソフトバンクホークス（プロ野球）
2018年（平成30年）	大谷 翔平（プロ野球）

殊勲賞 歴代受賞者

1968年（昭和43年）	玉の海 正夫（大相撲）	江夏　豊（プロ野球）	沢村　忠（キックボクシング）
1969年（昭和44年）	金田 正一（プロ野球）	小林　弘（プロボクシング）	清国 忠雄（大相撲）
1970年（昭和45年）	三浦 雄一郎（プロスキー）	小林　弘（プロボクシング）	中山 律子（ボウリング）
1971年（昭和46年）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）	大場 政夫（プロボクシング）	長池 徳二（プロ野球）
1972年（昭和47年）	堀内 恒夫（プロ野球）	大場 政夫（プロボクシング）	坂口 征二（プロレス）
1973年（昭和48年）	輪島 功一（プロボクシング）	阿部　道（自転車競技）	王　貞治（プロ野球）
1974年（昭和49年）	柴田 国明（プロボクシング）	北の湖 敏満（大相撲）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）
1975年（昭和50年）	村上　隆（男子プロゴルフ）	沢松 和子（テニス）	ガッツ 石松（プロボクシング）
1976年（昭和51年）	具志堅 用高（プロボクシング）	樋口 久子（女子プロゴルフ）	阪急ブレーブス（プロ野球）
1977年（昭和52年）	樋口 久子（女子プロゴルフ）	具志堅 用高（プロボクシング）	阪急ブレーブス（プロ野球）
1978年（昭和153年）	具志堅 用高（プロボクシング）	青木　功（男子プロゴルフ）	北の湖 敏満（大相撲）
1979年（昭和54年）	青木　功（男子プロゴルフ）	中野 浩一（自転車競技）	三重ノ海 剛司（大相撲）
1980年（昭和55年）	青木　功（男子プロゴルフ）	木田　勇（プロ野球）	中野 浩一（自転車競技）
1981年（昭和56年）	千代の富士 貢（大相撲）	倉本 昌弘（男子プロゴルフ）	中島 常幸（男子プロゴルフ）
1982年（昭和57年）	広岡 達朗（プロ野球）	中野 浩一（自転車競技）	岡本 綾子（女子プロゴルフ）
1983年（昭和58年）	隆の里 俊英（大相撲）	中野 浩一（自転車競技）	中島 常幸（男子プロゴルフ）
1984年（昭和59年）	岡本 綾子（女子プロゴルフ）	中野 浩一（自転車競技）	渡辺 二郎（プロボクシング）
1985年（昭和60年）	千代の富士 貢（大相撲）	落合 博満（プロ野球）	中島 常幸（男子プロゴルフ）
1986年（昭和61年）	中野 浩一（自転車競技）	浜田 剛史（プロボクシング）	千代の富士 貢（大相撲）
1987年（昭和62年）	千代の富士 貢（大相撲）	森　祇晶（プロ野球）	衣笠 祥雄（プロ野球）
1988年（昭和63年）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）	門田 博光（プロ野球）	森　祇晶（プロ野球）
1989年（平成元年）	藤田 元司（プロ野球）	武　豊（中央競馬）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）
1990年（平成2年）	森　祇晶（プロ野球）	千代の富士 貢（大相撲）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）
1991年（平成3年）	貴花田 光司（大相撲）	尾崎 直道（男子プロゴルフ）	中嶋　悟（F1）
1992年（平成4年）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）	三浦 知良（サッカー）	石井 丈裕（プロ野球）
1993年（平成5年）	曙　太郎（大相撲）	古田 敦也（プロ野球）	ラモス 瑠偉（Jリーグ）
1994年（平成6年）	貴乃花 光司（大相撲）	薬師寺 保栄（プロボクシング）	南井 克巳（中央競馬）
1995年（平成7年）	尾崎 将司（男子プロゴルフ）	貴乃花 光司（大相撲）	伊達 公子（テニス）
1996年（平成8年）	イチロー（プロ野球）	松井 秀喜（プロ野球）	十文字 貴信（自転車競技）
1997年（平成9年）	辰吉 丈一郎（プロボクシング）	古田 敦也（プロ野球）	福嶋 晃子（女子プロゴルフ）
1998年（平成10年）	中田 英寿（Jリーグ）	中山 雅史（Jリーグ）	イチロー（プロ野球）
1999年（平成11年）	武蔵丸 光洋（大相撲）	上原 浩治（プロ野球）	中田 英寿（Jリーグ）
2000年（平成12年）	佐々木 主浩（プロ野球）	中村 俊輔（Jリーグ）	畑山 隆則（プロボクシング）
2001年（平成13年）	タフィー・ローズ（プロ野球）	伊沢 利光（男子プロゴルフ）	古田 敦也（プロ野球）
2002年（平成14年）	松井 秀喜（プロ野球）	丸山 茂樹（男子プロゴルフ）	朝青龍 明徳（大相撲）
2003年（平成15年）	阪神タイガース（プロ野球）	不動 裕理（女子プロゴルフ）	横浜F･マリノス（Jリーグ）
2004年（平成16年）	松中 信彦（プロ野球）	浦和レッドダイヤモンズ（Jリーグ）	不動 裕理（女子プロゴルフ）
2005年（平成17年）	井口 資仁（アメリカ大リーグ）	千葉ロッテマリーンズ（プロ野球）	ガンバ大阪（Jリーグ）
2006年（平成18年）	北海道日本ハムファイターズ（プロ野球）	朝青龍 明徳（大相撲）	浦和レッドダイヤモンズ（Jリーグ）
2007年（平成19年）	中日ドラゴンズ（プロ野球）	武　豊（中央競馬）	松坂 大輔（プロ野球）
2008年（平成20年）	埼玉西武ライオンズ（プロ野球）	白鵬　翔（大相撲）	岩隈 久志（プロ野球）
2009年（平成21年）	原　辰徳（プロ野球）	ワールド･ベースボール･クラシック日本代表（プロ野球）	白鵬　翔（大相撲）
2010年（平成22年）	SAMURAI BLUE（サッカー日本代表）（サッカー）	千葉ロッテマリーンズ（プロ野球）	宮里　藍（女子プロゴルフ）
2011年（平成23年）	福岡ソフトバンクホークス（プロ野球）	柏レイソル（Jリーグ）	白鵬　翔（大相撲）
2012年（平成24年）	読売ジャイアンツ（プロ野球）	サンフレッチェ広島（Jリーグ）	なでしこジャパン（サッカー）
2013年（平成25年）	東北楽天ゴールデンイーグルス（プロ野球）	山中 慎介（プロボクシング）	白鵬　翔（大相撲）
2014年（平成26年）	白鵬　翔（大相撲）	福岡ソフトバンクホークス（プロ野球）	金子 千尋（プロ野球）
2015年（平成27年）	福岡ソフトバンクホークス（プロ野球）		
2016年（平成28年）	広島東洋カープ（プロ野球）	北海道日本ハムファイターズ（プロ野球）	
2017年（平成29年）	村田 諒太（プロボクシング）	デニス・サファテ（プロ野球）	佐藤 琢磨（インディカー・シリーズ）
2018年（平成30年）	井上 尚弥（プロボクシング）	サッカー日本代表（Jリーグ）	福岡ソフトバンクホークス（プロ野球）

創刊記念
スペシャルインタビュー
First issue special interview

王貞治

福岡ソフトバンクホークス　取締役会長

1977年9月3日のヤクルト戦でハンクアーロンのメジャー通算本塁打記録を抜く756号を達成。あまり感情を表に出さない王選手が、この時ばかりは手を大きく上げて喜んだ。

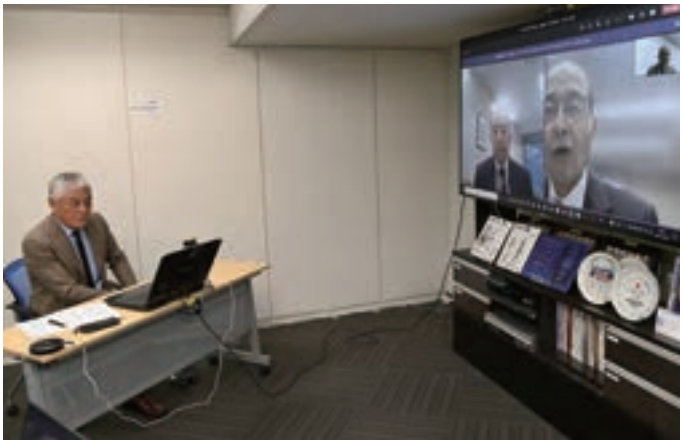
日本プロスポーツ大賞を3度も受賞できたことは最高の栄誉だと思っています。

インタビュアー
青島健太

写真：読売新聞／アフロ

２０２１年はコロナ禍に翻弄されながらも東京２０２０オリンピック・パラリンピックが開催され、日本のスポーツ界にとっては記念すべき年となりました。野球競技においては稲葉篤紀監督のもとに戦った日本代表が金メダル獲得の悲願を達成。大リーグで二刀流として活躍し、ＭＶＰほか数々の賞に輝いた大谷翔平選手が多くの人を熱狂させるなど、わが国のプロ野球界も大いに盛り上がりました。

日本プロスポーツ協会は、このたびの会報誌の創刊を記念して、球界を代表するレジェンドとして本塁打８６８本の世界記録を持ち、３度にわたり日本プロスーツ大賞を受賞した王貞治福岡ソフトバンクホークス球団会長にインタビューをお願いしました。インタビュアーをスポーツライターの青島健太氏が務め、日本プロスポーツ大賞にまつわる思い出からホームラン記録を支えた闘志、プロフェッショナルに求められるものなど、幅広いテーマについて大いに語っていただきました。



**全てのスポーツ選手の中から
ただ一人だけ選ばれたことに
大きな喜びと誇りを
感じていました。**

青島　王さんご無沙汰しております。今日は久しぶりにお話しできるのを楽しみにしてきました。

王　青島さんこんにちは。お元気でしたか。今日はよろしくお願いします。

青島　こちらこそ、お願いします。では、さっそくですが、王さんは日本プロスポーツ大賞を選手として3度受賞されています。そのことについて、どのように思われていますか。

王　それぞれの競技における表彰と違って、日本プロスポーツ大賞は全てのスポーツ選手の中から一人だけ選ばれる栄誉ある賞です。それを3回も受賞できたことは、とても喜ばしく思っています。当時は僕も元気で、毎年のようにたくさんのホームランを打っていた頃でした。

写真：読売新聞／アフロ

デビューした1959年の成績は、94試合に出場して本塁打数7本。

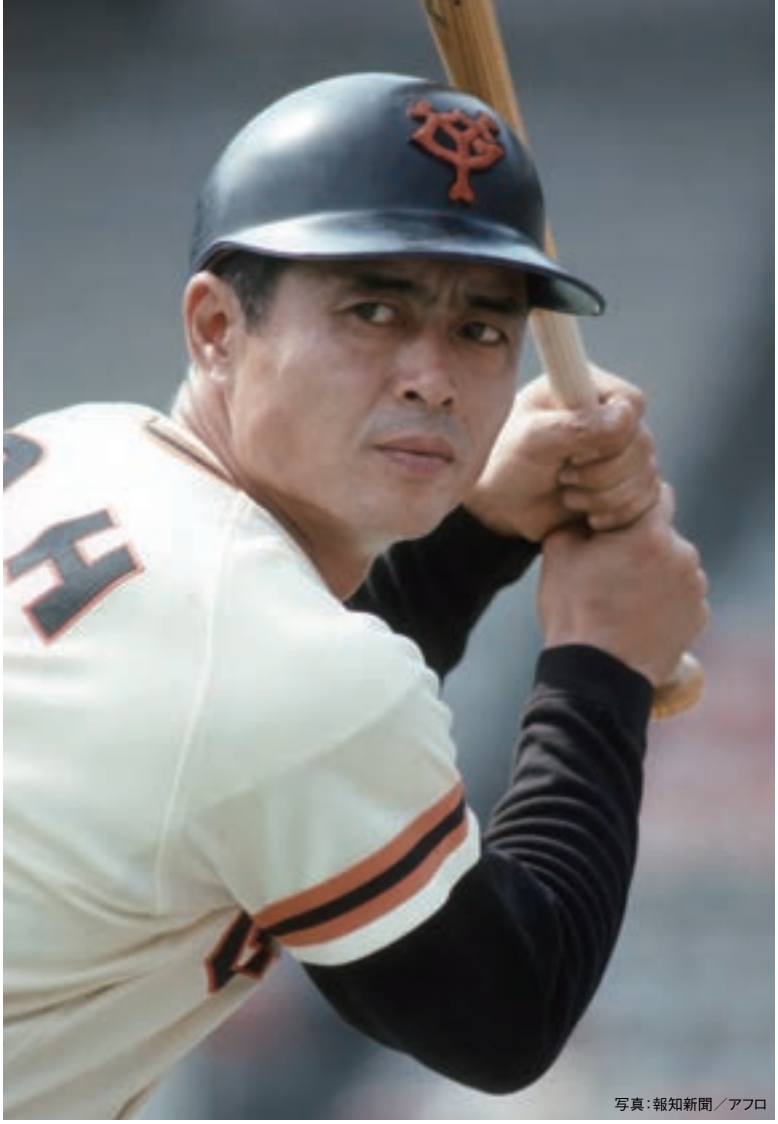
青島　受賞されたのは１９７４年、１９７６年、１９７７年ですから、王さんが30代の頃です。特に印象に残っていることはありますか。

王　さまざまなスポーツ界を代表する方々が一同に会している表彰式で受賞するのは本当に名誉なことであり、誇りを感じていました。そこに三度も登壇して賞をいただいたのは、今でも忘れられない思い出です。

青島　プロスポーツ大賞を目標にしたことはありましたか。

王　いいえ。目標にするには、あまりも大きすぎる賞ですから。競技者はそれぞれの世界でトップになるためにライバルたちと戦っています。でも、その結果が他の競技と比較されることまでは考えていません。シーズンが終わった段階で、選考の対象になっているだけでも光栄なことです。だから受賞はプロスポーツ選手として、またプロ野球人としても本当にうれしい。当時の僕にとって最高の賞でした。

王 貞治


写真：報知新聞／アフロ

トレードマークの一本足打法はホームランを打つために生まれた技術ではありません。

青島　王さんはホームラン868本の世界記録を持っていらっしゃいます。王さんにとってホームランを打つことは最初から大きなテーマだったんでしょうか。

王　プロになって最初の3年間くらいは全然打てずに苦労しました。4年目から一本足打法を取り入れて、打てるようになったんです。それまでは夜も眠れないくらい悩んでいたのに、不思議と打てるようになる。それからは、ホームランを打つことに苦労するのではなく、次の1本へ、さらにもう1本という気持ちを持ち続けることが大変でした。

青島　ホームランを量産できるようになるまでには、並々ならぬ努力をされたと思いますが、どうすればその域に到達できるのでしょうか。

王　ホームランを打つことが〝できる人〟になれば、たいしたことではありません。今シーズン、大谷翔平選手が大リーグであれだけホームランを打ちました。それはとても素晴らしいことだけど、大谷選手のように〝できる人〟にとっては、特別なことではないと思います。昨日できたことを明日もやれるようにするために、ひたすら練習して日々精進していくことが良い結果を生みます。僕の場合はそれがホームランだったし、他の競技者の皆さんも、それぞれの記録更新に繋がっているはずです。

青島　繰り返し練習するなかで、ホームランを打つ打撃フォームの完成度が高まったということでしょうか。

王　そうですね。練習を重ねるうちに技術が向上して、今まで見えなかったボールが見えるようになって、打てなかったコースにもバットを出せるようになりました。山登りと同じで、2合目、3合目、4合目と上に登っていくほど難しくなりますが、それだけ高みに到達できるということかもしれません。

青島　王さんのトレードマークともいえる一本足打法は、とても個性的で素晴らしい技術です。でも、王さん以外に一本足打法を究めた選手はいません。

王　一本足打法は、ホームランを打つために始めたわけではありません。ボールとの距離があるうちに早くスイングを始動するという目的からスタートして、たまたま僕にはうまくできたということです。僕の後で一本足打法に取り組んだ人たちはホームランを打とうとしたから成果を出せなかったんだと思います。

青島　なるほど、確かに足を上げて普通の打撃フォームより早くタイミングをとって待てるわけですね。

王　そうです。待ち構えることがバッティングで一番大切なことだと思っています。最近はスイングが遅れて詰まってしまう選手が多い気がします。詰まらないタイミングを作ることがバッターとして一番大事な条件です。

写真：読売新聞／アフロ

1978年に通算800号となる本塁打を放ったスイング

球場のファンが僕のホームランを観て満足して帰ってもらえるように朝も夜も打つことを考えていました。

青島　王さんがプロスポーツ大賞を受賞された1974年は2年連続の3冠王、76年はベーブ・ルース氏の本塁打記録を超え、77年はハンク・アーロン氏の記録を抜きました。王さんとして忘れられないホームランはどれでしょうか。

王　やはりベーブ・ルース氏の記録に関わる714号と715号、ハンク・アーロン氏を抜いた756号は忘れられません。ただ、その頃の僕はだいぶ年をとって体のキレも悪くなっていました。できれば、もっと若い30歳くらいの打撃フォームを見て真似てほしいですね。ただ、気持ちのうえでは偉大な記録にチャレンジするという充実感がありました。ピッチャーも僕を打ち取るために、あの手この手を繰り出してきましたから、僕も何とか乗り越えなくてはなりません。若い頃と違って、応用できるようになったことは、ホームランを打つ上で大きかったですね。

青島　王さんはホームランを打っても、ガッツポーズすることもなく淡々とベースを回っていました。これは感情を表に出さないように意識されていたんでしょうか。

王　高校時代には試合で勝ってグローブを放り投げたこともありました。でもある時、兄に「相手の気持ちになってみろ、勝負がついてるんだから、そんなことをしてはいけない」と言われたんです。その言葉が心に響いて、それからは一切そうしたことをしませんでした。

青島　王さんがプロフェッショナルとしてご自身に課していたのは、どんなことでしょうか。

王　プロはファンに支えられています。だから何よりもまずファンの皆さんに喜んでほしい。僕の場合はホームランでしたから、球場に来てくださるファンの方に「今日は王のホームランを観たぞ」と満足して帰っていただくのが僕の仕事だと思っていました。だからホームランを打とう、という気持ちは他のバッターよりも100倍くらい強かったと思います。

青島　何が何でもホームランを打つ。それがプロであり、王貞治なんだとい

う気持ちでプレーされていたということですね。

王　やっぱりホームラン王になったら、次の年もなりたいんです。負けたくないんですよ。バット振るのも、走るのも、練習はとても苦しいんですけど、もっとホームラン打ちたいっていう、その一心で乗り越えることができました。ただ技術があるだけでは、あれだけの数は打てなかったでしょう。夜寝るときも、朝起きてグラウンドに行くまでの間も、ホームランを打つためには、どうすればいいかをひたすら考えていましたから。

青島　先程、ホームランを打ってファンの皆さんに喜んでもらうことがプロとしてのやりがいとおっしゃっていました。でも、時にはファンから厳しい言葉を浴びせかけられることもあります。

王　ファンの声はものすごくストレートなんです。グサッときて反論できないし、文句も言えません。だから、明日はみていろよという悔しい気持ちで帰って一心にバットを振り続ける。これなら明日は打てるぞというところまで自分を盛り上げて納得できないと眠れませんでした。僕に限らず、プロ野球選手はファンの厳しい声があるから頑張れるんだと思います。最近は昔のようにヤジや罵声が飛び交うことはなくなってきました。もちろん応援してくださるのはうれしいけれど、僕としては「何やってんだ」っていう声もありがたいですね。僕の選手寿命を延ばしてくれたのも、ファンの叱咤激励ですから。

> 侍ジャパンの金メダル獲得や
> 大谷選手の活躍によって
> 忘れられない一年に
> なりました。

青島　東京2020オリンピック・パラリンピックでは、王さんも大会の要職を務められました。そうした立場で関わられて、どのようにご覧になっていましたか。

王　コロナ禍で、開催できるかどうかということもありました。でも、僕は100年経って振り返った時に、絶対にやってよかったとみんなが思うと信じています。日本で開催できなかったことが歴史に残らなくてよかった。困難な状況の中で、多くの人に支えられながら開催できたことに感謝しています。

青島　王さんの想いに応えるかのように、野球競技では侍ジャパンが金メダルを獲りました。

王　日本は開催国として、金メダルを獲らなければという雰囲気がありましたから、稲葉監督は大変だったと思います。僕もWBCで日本代表を指揮したことがありますが、日本の選手は日の丸をつけた途端に、ガラッと変わるんです。チームの勝利のために結束する。今回のオリンピックの代表チームも選手たちの気持ちが熱かったから、苦しみながらもアメリカに勝って金メダルを手にしました。選手にとってはもちろん、僕たちにも忘れられないオリンピックの野球競技でした。

青島　WBCのお話しもありましたが、最近は野球に限らず多くの競技で国際試合の機会が増えて、多くのプロ選手たちが世界で活躍しています。そういった状況について、どのように思われますか。

王　僕が現役の頃は今に比べて国際試合が少なかったので、まれに外国のチームと試合すると、パワーや体格の差を感じることがありました。でも、今の選手たちはそういった力の差を感じずに対等の意識で戦っています。スポーツの世界で国際交流が活発に行われているのは、競技レベルの向上に繋がる、とてもいいことだと考えています。

青島　私は日本のプロスポーツが海外に負けない、あるいは日本のプロ野球はすごいんだという意識が芽生えたのは、王さんがベーブ・ルースやハンク・アーロンのホームラン記録を追い抜いたことに始まっていると思います。王さんが指揮したWBCではイチロー選手が大活躍しましたし、今は大谷選手がメジャーで日本野球をアピールしてくれています。王さんは大谷選手をどのようにご覧になっていますか。

写真：ゲッティ イメージズ
大記録達成に向けて1977年6月4日の打席に立つ表情

写真：ロイター／アフロ

2006年、WBCアジアラウンドの台湾戦で得点したイチローを迎える王監督

王　とにかくすごかったですね。テレビをつけるたびにホームラン打ってる感じでしたから。日本の野球選手でアメリカの野球ファンに、この選手にはかなわないって思わせたのは彼が初めてでしょう。なんといってもホームランは大リーグの華ですから、本塁打王に迫って大騒ぎされた大谷選手は、日本の野球に対する意識を大きく変えましたね。

青島　大谷選手は二刀流だけにとどまらずに、いろんな意味でプロのスポーツマンはこうあるべきという姿を発信してくれているように感じます。

王　そうですね。アメリカの球界で日本人選手が活躍すると、メディアやファンからバッシングされることがあります。でも、大谷選手は相手チームさえも味方にしてしまう。童顔で微笑みを絶やさず、マナーが徹底していて、絶対に相手の心証を害するようなことをしません。アメリカの野球ファンにあれだけ受け入れられたということは、彼の人間性が素晴らしいからだと思います。さらに46本もホームランを打って本塁打王争いをしたのは、アメリカの野球界にとっても大きな衝撃です。僕たちの頃には考えられません。大谷選手の後に続く若い人たちに、努力すればアメリカでもこれだけやれるんだという可能性を示してくれました。

青島　王さんも甲子園で優勝ピッチャーでしたから、二刀流という道もありましたね。

王　いえいえ、同じピッチャーでもレベルが違います。でも大谷選手は大変だったと思いますよ。毎試合DHとして打席に立って、ピッチャーとしてコンディションを調整するのはとても難しいことです。きっと僕たちには想像もつかない苦労があったでしょう。

> 高い目標を掲げて
> チャレンジし、
> 勝つためには命を
> かけるくらい徹底するのが
> プロだと思います。

青島　日本プロスポーツ大賞は、50年以上にわたって王さんをはじめ多くの

写真：読売新聞／アフロ

1978年8月30日、800号本塁打達成記念セレモニーでファンの声援に手を振って応える

素晴らしいアスリートの方々が受賞されてきました。これから、この賞にふさわしい活躍を見せてくれる次世代のアスリートに向けてひと言メッセージをいただけますか。

王　そうですね。まず、目標を高いところに掲げてほしいですね。かつて野球では松井秀喜選手やイチロー選手、今は大谷選手がアメリカで活躍しています。テニスの大坂なおみ選手や錦織圭選手、ゴルフの松山英樹選手など世界の舞台で輝かしい実績を上げている選手がたくさんいます。そうした先輩に続いて、絶対に自分がチャンピオンになるんだという気持ちで日々の練習に励んでほしいですね。そうすれば、望んだものが手に入ります。無理だと思ったら絶対に届きません。日本プロスポーツ大賞を目指すのも、いい励みになるでしょう。僕が現役だった時代と違って、今の選手たちはとてもいい環境に恵まれています。だから自分の可能性を信じて、一途にチャレンジしてほしい。そうすれば、日本のプロスポーツ界のレベルはもっと上がっていくと思います。

青島　最後に一つ伺います。王さんにとって、プロとは何でしょうか。

王　プロは命がけです。命をかけても勝つ。プロは負けたらダメなんですよ。試合にも、自分自身にも勝つことを最優先して、それに向かって取り組む。その結果、ファンの皆さんが喜んでくださるんです。プロとして長く選手を続けるためには、多くのファンの共感を得て、支えてもらわなければいけません。最近はちょっといい成績を出しても、すぐに消えてしまう選手が多いなと感じます。一度つかんだチャンスは放さずに、とことん握りしめて、大きなものにしてほしい。勝つために徹底して自分を高めていけるのがプロだと思います。

青島　王さんらしい、厳しい言葉ですね。今日はどうもありがとうございました。

王　こちらこそ、楽しくお話しさせていただき、ありがとうございました。またお会いできるのを楽しみにしています。

Sadaharu Oh

1940年生まれ。早稲田実業高校で1957年春の選抜大会に優勝。1959年に巨人へ入団。1962年に初の本塁打王になる。1980年に現役を引退するまでに本塁打王15回、三冠王2回、首位打者5回、打点王13回。868本塁打の世界記録を持つ。1977年に第一回国民栄誉賞受賞。1984年～1988年に巨人軍監督、1995年～2004年にダイエーホークス監督、2005年～2008年ソフトバンクホークス監督を務める。現在、ソフトバンク球団取締役会長終身GM、日本プロ野球組織（NPB）コミッショナー特別顧問、読売巨人軍OB会顧問、日本プロ野球名球会顧問など。

Kenta Aoshima

1958年生まれ。春日部高校、慶応義塾大学、東芝と進み、1985年ヤクルト入団。同年5月の阪神戦でプロ野球史上20人目となる公式戦初打席初本塁打を記録。引退後は、日本語教師としてオーストラリアへ渡る。そこで知り合った人々との交流を通して、プロ野球生活で忘れかけていたスポーツをする喜びや、楽しみ方を思い出し、スポーツの素晴らしさの伝え手となることを決意し帰国。スポーツライター、テレビキャスターとして新しい道を歩み始める。現在は、あらゆるメディアを通してスポーツの醍醐味を伝えている。日本医療科学大学客員教授、鹿屋体育大学非常勤講師、全日本野球協会常任理事、全国野球振興会（プロ野球OBクラブ）理事、ヤクルトスワローズOB会副会長など。

写真：REX／アフロ

2021年全豪オープン準決勝でショットの瞬間に見せた険しい表情

パラスポーツ優秀選手紹介

国枝 慎吾

（プロ車いすテニス）

車いすテニスのプロとして圧倒的な強さと輝かしい成績を誇る国枝選手。東京2020パラリンピックのシングルスでも金メダルに輝き、パラスポーツに対する関心の高まりに大きな役割を果たしました。国枝選手の競技にかける想いや、世界を転戦するプロとして意識していることについてお話しを伺いました。

世界ランク一位になってプロを目指そうと決意

Q. プロを目指そうと思ったきっかけについて教えてください。

A. 初めて出場した2004年のアテネパラリンピックでは、斎田選手と組んだダブルスで金メダルを獲得することができました。大会に出場する前は、この大会で引退しようと考えていました。でも、金メダルを取ったことで、新しい可能性が広がるかもしれないと思い、現役を続行したところ、出身大学の職員としての道が開けました。北京パラリンピックを目指していた頃に世界ランク一位の地位を獲得できたのですが、世界一位なのに大学から給与をもらっている状況に車いすテニスの未来があるのかと思い、プロを

目指すことにしました。世界中でテニスのプロ選手をマネジメントしているエージェンシーを見つけて、日本支社長の方にプロになりたいと自分自身を売り込んだところ、北京を終えてから、また話し合いましょうと言われたんです。北京ではシングルスで初めての金メダルを獲得することができたので、再度、支社長と会ってマネジメント契約を結んでいただき、2009年4月にプロ宣言をしました。

Q. その当時に思い描いていたプロの姿とは、どのようなものですか。

A. 大学からの給与をもらわず、競技一本で大会の賞金や、スポンサーからのご支援で食べていく。つまり、これまで以上に結果がすべてになる世界に身を置くことになると思いましたし、言い訳ができない世界に入るのだと考えていました。

自分の成績だけではなく競技の未来を考えるのがプロ

Q. 車いすテニスのプロ選手は大勢いらっしゃるのでしょうか?

A. 車いすテニスは競技としてプロの定義がないので、何をもってプロと考えるのかによります。日本国内で会社から給与をもらわず、私のようにスポンサーの支援によってプロ活動をしているという選手は、そんなに多くないと思います。海外に目を向けると、国が手厚い支援を行い、その選手の活動を支えている選手も多いと思います。ただ、グランドスラムに出場するような選手は誰でも、この競技をみんなに知ってもらいたい、楽しんでみてもらいたい、そしてこの競技が発展してほしいと思っているので、その意味では、トップクラスの選手は全員がプロ魂を持っていると思います。

Q. 東京パラリンピックに対して積極的に発言されていたのも競技のPRのためですか。

A. はい、東京で行われるパラリンピックは、ホームでの開催という一生に一度の機会ですし、たくさんの方に車いすテニスを見てもらえるチャンスでもあります。私たち選手は、初めて競技を見てもらう皆さんに、車いすテニスの迫力や楽しさを伝えたいと思っていました。そのためには、皆さんの想像の上を行くプレーを見せなければいけません。そうすることで、パラリンピックが終わっても引き続き、車いすテニスに興味を持ってもらいたい、という気持ちでいました。

パラリンピックの効果が全米に繋がるよう全力を尽くした

Q. 東京パラリンピックを終えた感想を聞かせてください。

A. 自分自身、日本選手団の主将として臨ませていただきましたが、逆に、主将を務めることで、変な試合はできない、大会の序盤で姿を消すことができないと気合が入っていました。ただ、今年開催されたグランドスラムの全豪、全仏、全英はすべて優勝することができなかったので、東京パラリンピックで最高のパフォーマンスをどうすれば出すことができるのか、ということについてはチーム全体でいつも考えていました。コーチとは、バックハンドを元に戻す決断をし、メンタルトレーナーとも自分に言い聞かせている「俺は最強だ」のほかに、「自分が何をすべきかわかっている。I know what to do」、「私はできる。I can do it」と、計3つのフレーズを作り、大会期間中は試合前も試合中も常につぶやいていました。そうすることで、自分自身、最高のパフォーマンスを皆さんにお見せできたと思っていますし、結果、金メダルが取れたことにはとても満足しています。また、今回は自分自身が金メダルを取れたこと以上に、車いすテニスを日本の多くの方に見てもらえたという実感があります。決勝の視聴率も10%を超えていたと聞きましたし、多くの報道番組で取り上げられました。今まで国枝という名前は聞いたことがあるが、プレーは見たことがないという皆さんにも、車いすテニスの面白さを知っていただけたと思っています。

Q. パラリンピック翌週の全米オープンも2年連続で優勝しましたが、コンディションはいかがでしたか。

A. 日程が発表された段階でパラリンピックの翌週にグランドスラムが開催されるのは想定していましたが、正直、体力はまったく回復できていませんで

写真:ゲッティ イメージズ

2021年全仏オープンの決勝戦でボールを追う国枝選手

した。決勝の直前のウォームアップ期間中も、気が付くと眠ってしまっているような状態でした。ただ、決勝で戦った選手は、東京パラリンピックの決勝で当たると思っていた選手だったので、この全米オープンで負けてしまうと、東京パラリンピックの優勝もフロックと思われてしまうかもと思い、その時点で出せる全力を出し切って、勝利することができました。（苦笑）ただ、皆さんに全米オープンにまで高い関心をもってもらえたのも、東京パラリンピックのおかげだと思っています。

写真：AP／アフロ
優勝した2021年全米オープン決勝戦でテイクバックしながらボールを見る

車いすテニスは障がい者と健常者がとても近いスポーツ

Q. 車いすテニスのツアーの特徴を教えてください。

A. ここ2年ほどはコロナ禍の影響で大会の数が減っているのですが、通常であれば世界各国で年間約150大会が開催されています。私はその中から毎年15大会くらい出場しています。それぞれの大会に賞金が出るので、パラリンピックの他競技と比べて恵まれていると思います。また、車いすテニスツアーを管轄する国際テニス連盟は、健常者のテニスも管轄しているので、グランドスラムの会場で私の試合の隣コートが錦織君の試合、ということも普通にあります。車いすテニスは健常者と障がい者がとても近い位置にあるスポーツかもしれません。一昨年に有明で開催された楽天ジャパンオープンは、通常は健常者のみのプロ大会ですが、車いすテニスも同時に開催され、たくさんの方に試合を見ていただけたのも、このような事情があったからだと思います。

Q. 車いすテニスがさらに発展するために必要なことは何ですか。

A. 賞金が出るといっても、その賞金だけで食べていけるだけの選手は数えるくらいしかいない状況です。ツアー全体がもっと盛り上がり、賞金だけでももっと多くの選手が生活できるような環境になってくれればと思っています。そのためには選手それぞれが、さらに自身のレベルを上げる必要があると思います。

Q. 今後の国枝選手の目標を聞かせてください。

A. 一時期は東京で引退ということも頭をよぎりましたが、今は体も元気で世界一位の座もキープできているので、引き続き、現役を続けていこうと思っています。ただ、昔のようにパラリンピックごとに中期の目標を立てるということはしなくなっているので、目の前のグランドスラムを目標に、次は2022年1月の全豪オープンの優勝を目標に調整を続けています。もう一つは、東京パラリンピックが開催される前は、有明の満員の観客の前で金メダルを獲得する、と公言していましたが、無観客となり満員ではなくなってしまったので、近い将来、満員の有明で車いすテニス大会を開催して、そこで優勝したいですね。（笑）

©IMG

Shingo Kunieda

1984年生まれ　東京都出身
プロ転向　2009年

2021年東京オリンピックでの優勝後、2022年全豪、全仏に続き2022年7月、ウィンブルドン選手権※で悲願の初優勝を果たす。これにより、車いすテニス男子シングルスで初めて「生涯グランドスラム」および「生涯ゴールデンスラム」を達成。

※2016年、ウィンブルドン選手権に車椅子テニスが追加された。

■主な成績

パラリンピック

年度	開催場所	成績
2021年	東京	シングルス金メダル
2016年	リオデジャネイロ	ダブルス銅メダル
2012年	ロンドン	シングルス金メダル
2008年	北京	シングルス金メダル、ダブルス銅メダル
2004年	アテネ	ダブルス金メダル

グランドスラム　シングルス29勝

大会名	成績	年度
全豪オープン	優勝10回	2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2013, 2014, 2015, 2018, 2020
ジャパンオープン	優勝3回	2006, 2007, 2008
ブリティッシュオープン	優勝2回	2007, 2008
USウィールチェア	優勝2回	2006, 2007
全仏オープン	優勝5回	2009, 2010, 2014, 2015, 2018
USオープン	優勝7回	2009, 2010, 2011, 2014, 2015, 2020, 2021
年間グランドスラム	5回	2007, 2009, 2010, 2014, 2015

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」

私たちは、私たちのために、スポーツをするんだ。

大好きなスポーツを、全力で楽しみたい。勝ちたいけど、負けて気づくこともある。つらい時は、休んだっていい。だって、スポーツは、自分自身のためにあるのだから。大好きなスポーツを、大好きな仲間といっしょに。

さあ、子どもたちのスポーツへ。

Children's Rights
in Sport Principles
子どもの権利とスポーツの原則

unicef

childinsport.jp

パラスポーツ優秀選手紹介

富田 宇宙

（競泳：視覚障害クラス）

東京2020パラリンピック競技大会のメダルや紅白への出演で、社会と障がい者のインクルージョンを推進したい。

東京2020パラリンピック競技大会（以下東京2020大会）で三つのメダルを獲得した富田宇宙選手。アスリートとしてより良い社会の実現に向けてメッセージを発信し続ける富田選手にパラスポーツの意義を語ってもらいました。

スペインで水泳の合宿中に紅白の出演依頼が届いた。

昨夏の東京2020大会に出場した後、私はスペインで水泳の個人合宿を行っていました。全く新しい環境でパリ2024パラリンピック競技大会へのスタートを切るためです。練習方法をはじめ、言葉も文化も全く違う異世界での競技生活は、何もかもが新鮮で充実した毎日にとても満足していました。

そんな12月初旬のある日、日本から「紅白歌合戦のマツケンサンバにダンサーとして出演していただけませんか」という電話が入ったのです。私はパラ競泳の傍ら、ブラインドダンスという視覚に障がいを持つダンサーのための社交ダンス競技もやっています。今回はブラインドダンサーとして、松平健さんのステージに参加してほしいというオファーでした。担当者に話を聞くと、マツケンサンバは東京2020大会の開閉会セレモニーへの出演を待望されていたものの実現しませんでした。そこで、東京2020大会閉会式で話題になったカラフルダンサーズとのコラボレーションで日本を元気にしよう、との思いで企画されたものでし

（株）つなひろワールド

公益社団法人日本ダンス議会主催2018年全日本ブラインドダンス選手権男性ラテン部門で優勝し3連覇を達成

た。カラフルダンサーズのテーマは「多様性」。国籍、性別、年齢、障がいの有無を超えたスペシャルチームが紅白でパフォーマンスをすることは前代未聞で、きっと社会にポジティブなインパクトを与えられるはず、と担当は力強く話してくれたのです。

私は、水泳もダンスも障がいにより一度そこから離れ、障がいが重くなってからパラスポーツという新たなカテゴリーで競技に復帰したという経緯があります。パラ競泳選手としても、ブラインドダンサーとしても、障がいを持つ人々が競技をすることの付加価値について考え続けてきました。

パラスポーツを障がいに関係なく純粋なエンターテインメントとして観てほしい、と言う方々もいます。しかし、パラスポーツはそこに留まらないポテンシャルを内包していると思います。純粋なハイパフォーマンスで人を魅了するだけであれば、敢えて障がいのある人々をピックアップする必要はありません。多様性を前向きに捉えることの価値を伝える。困難を克服できる人間の可能性を示す。そこに私たちのミッションがあり、魅力となって表面化します。それにより経済的付加価値を獲得して、社会と障がい当事者の変化と成長のシナジーによるインクルーシブネス※1を実現する。そこにパラスポーツの根本的なパーパス※2があるのです。その社会的シナジーの一助になりたいというのが私の行動理念であり、パラアスリートとして活動する上での個人的な規範になっています。

その理念に照らした結果、紅白への参加を決断した私はスペインでの合宿を中断して、急遽帰国を手配したのです。2週間の隔離期間を自宅でトレーニングしながら過ごした後に、直前のリハーサルから参加し、なんとか大晦日の出演に間に合いました。非常に困難なスケジュールでしたが、周囲の方々の支援を受けて実現できたことに感謝しています。

パラアスリートの枠を超えて社会に貢献していきたい。

紅白のステージ本番はとても素晴らしい経験でした。日本を代表するパフォーマーの方々と共演させていただけて、自分の視野が広がったと感じます。とはいえテレビに映るのは一瞬のことですし、実際には陽気にはしゃいで踊っていただけなので、どれほどのものをお伝えすることができたのかはわかりません。それでも多くの方々から「元気が出た」「一年のいい締めくくりになった」「色んな人が踊っていて面白かった、感動した」などといった声が寄せられました。パラ競泳でメダルを獲得した東京2020大会に続いて、今回も微力ながらいい仕事ができたと自負しています。

これからもパラアスリートとしての枠にとらわれることなく、自身の持つ特性を最大限に活用して、あらゆることへの積極的なチャレンジを通じて、社会に貢献していきたいと考えています。

Uchu Tomita

1989年生まれ。熊本県出身。
3歳から水泳を始め、高2のときに徐々に視野が狭くなる網膜色素変性症が判明。大学時代は競技ダンスに打ち込み一時期は水泳から離れたが、2012年にパラ水泳の世界へ。東京2020大会競泳マルチメダリスト、ブラインドダンス日本チャンピオン。トップアスリートでありながら多様なバックグラウンドを持ち、多方面から共生社会の実現に向け発信を行っている。EY Japan所属。

※1：inclusiveness／個々の人材の違いを生かし、それぞれの価値を認め合うことを実感できる環境。
※2：purpose／存在意義や人生の目的。

令和２年度

優秀チーム紹介

川崎フロンターレ

（Ｊリーグ）

コロナ禍に翻弄されながらも闘志あふれる挑戦でリーグ優勝と天皇杯制覇を達成。

かつてない逆境の中で元気と勇気を与えるプレーを。

２０２０年の川崎フロンターレは、圧倒的な成績で通算三度目のＪリーグ優勝を達成し、クラブ史上初となる天皇杯も制覇。実りある１年となりました。

しかし、昨シーズンはこれまでとは違う難しさがありました。新型コロナウィルス感染流行を受けてシーズン開幕直後に４カ月の中断。再開後は週に２試合の連戦が続き、感染防止対策として無観客で試合が開催されるなど、今までの環境とは正反対の中で戦うことを余儀なくされてしまいました。

そうした逆境の中で、鬼木達監督は選手たちにこう語りかけたのです。

「こういう時だからこそ、日本のサッカー界を引っ張っていこう。自分たちが元気、勇気を出してみんなに喜んでもらえるサッカーをしよう」

この言葉が選手たちの心に火を付け、川崎フロンターレは連勝の山を築き上げていきました。

記録に残るシーズンは新たな挑戦の糧となる。

そして、リーグ戦が34試合制となった２００５年以降、残り４試合を残して史上最速優勝を達成。２位との勝ち点差も、２０１０年の名古屋グランパ

2020年11月3日、リーグ優勝杯を手に歓喜する選手たち

スが記録していた10ポイント差を大幅に上回る18ポイント差でフィニッシュしました。さらに、得点数「88」は過去の最多の新記録を樹立するなど、鬼木監督の言葉を選手がピッチで体現しました。キャプテンの谷口彰悟選手は、記録に残る年を振り返って語りました。

「2020年は自分たちの予想を上回るような勝ち点数を取ることができ、簡単ではないことを達成することができました。勝つことを最低限に考えながらも、勝ってもまだまだ修正しないといけない部分とか、もっと個人として向上していきたいという思いが強く芽生えていたと思います。それが結果を出せたひとつの要因だと思いますし、このチームの基準がまたひとつ上がった気がしています」

この素晴らしいシーズンの中で、大卒で入団し18年間在籍した中村憲剛選手が現役引退を発表。地域に密着し、幾度となくチームを勝利へと導いてきた選手の引退には喪失感もありました。ただ、その思いは未来へと引き継がれています。2022年も、強い川崎フロンターレとしてサポーターに笑顔を届けられるように、選手たちは全力で戦っています。

Kawasaki Frontale

神奈川県川崎市をホームタウンとする日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に加盟するプロサッカークラブ。チーム名の「フロンターレ（Frontale）」はイタリア語の「正面／前飾り」に由来する。前身は1955年に創部された「富士通サッカー部」であり、1997年にJリーグ準会員となる。同年、公募によりチームの名称が「川崎フロンターレ」と決定された。

令和２年度

優秀選手紹介

写真：ゲッティ イメージズ

2020年10月31日、ラスベガスで行われたジェイソン・マロニーとのバンタム級タイトルマッチは7RでKO勝利

井上 尚弥
（プロボクシング）

勝利に奢ることなく試合運びを反省する。

井上尚弥選手は、単にバンタム級のWBAスーパー王座とIBF王座に君臨しているだけでなく、いまや日本のみならず世界中のボクシングファン、関係者の注目を集める存在です。

コロナ禍のなか2020年10月31日には米国ネバダ州ラスベガスのリングでWBO1位のジェイソン・マロニー（オーストラリア）に芸術的なKO勝ちを収めて防衛に成功し、さらに世界的な評価を高めています。

この試合では、井上選手は動きの速い挑戦者に圧力をかけ、7回には相手が連発した左ジャブに合わせて左フックを好打し、技ありのダウンを奪います。圧巻は8回に放った右ストレートのカウンターです。鮮やかなダウンにより、フィニッシュに持ち込みました。快勝といっていい試合内容です。

「倒したパターンは良かったと思うし、インパクトを残す倒し方をして勝ったことは大きな収穫」と井上選手は自己分析する一方で「1、2ラウンドは硬かった。もっと最初からリラックスして入らないと……」と反省も忘れません。

写真：ゲッティ イメージズ

ジェイソン・マロニー戦は英スポーツメディア「Give Me Sport」の“2020年KOベスト5”に」選出された

成長を続ける〝モンスター〟はバンタム級王座統一を目指す。

ダスマリナスと打ち合う井上は3度のダウンを奪って勝利した

勝って兜の緒を締める慎重さが圧倒的な強さを支えているのです。

今後の記録と記憶に世界中のファンが注目。

今までの戦績は21戦全勝（18KO）で、KO率は85パーセントを超えています。16度の世界戦（全勝14KO）で奪ったダウンの総数は32に達し、1試合平均2度のダウンを奪っている計算になります。アマチュア（81戦75勝6敗）からプロを通じて自身がダウンを喫したことはなく、流血も2019年11月のノニト・ドネア（フィリピン／米国）戦の一度だけです。極めて高い攻撃力と鉄壁の防御力を兼備していることが、ライトフライ級、スーパーフライ級、バンタム級の3階級制覇を成し遂げた輝かしい実績に繋がっています。

今後の目標に「まずはバンタム級の4団体の王座統一」を挙げる井上選手には、4階級制覇の期待もかかっています。

「スーパーバンタム級転向は先のこと。でも階級を上げたときにどんなボクシングをするのか、自分でも興味がある」と話す井上選手。〝モンスター〟は未だにその全貌を見せていません。3階級制覇を成し遂げて、なお成長途上にあるからです。これから井上選手がどのような記録を樹立し、どんな記憶に残る試合を見せてくれるのか、世界が注目しています。

Naoya Inoue

1993年生まれ　神奈川県出身
大橋ボクシングジム所属
元WBC世界ライトフライ級王者
元WBO世界スーパーフライ級王者

現WBA世界バンタム級王者
現IBF世界バンタム級王者
通算成績：21戦21勝（18KO）無敗

※本原稿の入稿後、井上尚弥はノニト・ドネアとの再戦に勝利し、WBA・IBFバンタム級王座に加えWBC同王座を獲得。3団体統一王者という偉業を成し遂げている。
更に、権威のある米老舗ボクシング専門誌「ザ・リング」が6月、全階級のボクサーを格付けしたパウンド・フォー・パウンド（PFP）ランキングを発表し、井上尚弥は日本人史上初の1位に選出された。

■戦歴

年	月	対戦相手	成績
2021年	6月	vs マイケル・ダスマリナス	3R:TKO勝ち
2020年	10月	vs ジェイソン・マロニー	7R:KO勝ち
2019年	11月	vs ノニト・ドネア	3−0判定勝ち
2019年	5月	vs エマヌエル・ロドリゲス	2R:TKO勝ち
2018年	10月	vs ファン・カルロス・パヤノ	1R:KO勝ち
2018年	5月	vs ジェイミー・マクドネル	1R:TKO勝ち
2017年	12月	vs ヨアン・ボワイヨ	3R:TKO勝ち
2017年	9月	vs アントニオ・ニエベス	6R:TKO勝ち
2017年	5月	vs リカルド・ロドリゲス	3R:KO勝ち
2016年	12月	vs 河野公平（ワタナベ）	6R:TKO勝ち
2016年	9月	vs ペッチバンボーン・ゴーキャットジム	10R:KO勝ち
2016年	5月	vs ダビド・カルモナ	3−0判定勝ち
2015年	12月	vs ワーリト・パレナス	2R:KO勝ち
2014年	12月	vs オマール・ナルバエス	2R:KO勝ち
2014年	9月	vs サマートレック・ゴーキャットジム	11R:TKO勝ち
2014年	4月	vs アドリアン・エルナンデス	6R:TKO勝ち
2013年	12月	vs ヘルソン・マンシオ	5R:TKO勝ち
2013年	8月	vs 田口良一（ワタナベ）	3−0判定勝ち
2013年	4月	vs 佐野友樹（松田）	10R:TKO勝ち
2013年	1月	vs ガオプラチャン・チュワタナ	1R:KO勝ち
2012年	10月	vs クリソン・オマヤオ	4R:KO勝ち

令和２年度

優秀選手紹介

大坂なおみ

（プロテニス）

コロナ禍で閉塞感の漂う日本に大きな喜びと感動を届けた３度目のグランドスラム優勝。

©IMG

無観客のなかで行われた異例ずくめの全米オープン。

２０２０年９月13日、アメリカ・ニューヨークにあるアーサー・アッシュ・スタジアムで行われた全米オープンテニスの決勝戦は、大坂なおみ選手がビクトリア・アザレンカ選手を逆転で下し、自身通算３度目となるグランドスラム制覇を成し遂げました。

熱戦に勝利した大坂選手は、センターコートに仰向けに寝転がり、しばらく青空を見上げていました。１時間53分にわたる試合はとてもハードで、追い込まれた状況から挽回するタフさを強いられるものだったのです。大坂選手は試合後のインタビューで「もうあなたと決勝では戦いたくない。あまり楽しめなかった。本当に大変だったから」とビクトリア・アザレンカ選手に語っています。

大坂選手にとっては、２度目の優勝となる全米オープンですが、初めてグランドスラムのタイトルを獲得した２０１８年と異なり、観客席からは拍手も歓声も聞こえてきません。新型コロナウイルス対策により無観客での開催だったからです。テニスの２０２０年シーズンは３月から約５カ月にわたってツアーが中断されました。グランドスラム大会についても、ウィンブルドンは第二次大戦後では初めての中止が決まり、５月24日に開催予定だった全仏オープンは９月27日に延期となったのです。全米オープンは予定通り８月31日に開催されましたが、完全無観客、検査の徹底や関係者の人数制限など多くの制約がありました。

２０２０年のシーズンは、世界を転戦する選手たちにとって、コンディションとモチベーションを維持するのが難しい環境だったといえるでしょう。

１時間では負けられないという強い気持ちが勝利につながる。

多くの大会が中止となったことから、大坂選手が２０２０年のシーズンに出場したＷＴＡツアーは、わずか４大会でした。しかし、１月のブリスベン国際大会ではベスト４まで進み、全豪オープンは３回戦、ツアー再開後のウェスタン＆サザンオープンは準優勝と好成績を残しています。８月のウェスタン＆サザンオープンでは、準決勝に勝利しながらも負傷のため決勝を棄権しましたが、月末に始まった全米オープンはトラブルもなく順調に勝ち上がり、ビクトリア・アザレンカ選手との決勝戦に臨みました。

アザレンカ選手は２０１２年と２０１３年の全豪オープンを連覇している経験豊富なベテランで、大坂選手が負傷で棄権したウェスタン＆サザンオープンの決勝戦の相手でもありました。

試合の序盤はアザレンカ選手がサーブで大坂選手を圧倒し、わずか26分で

パワフルなフォアハンドでゲームの主導権を握る。
©IMG

力強いプレーの合間に見せる笑顔も大坂選手の魅力。

第1セットを取得します。第2セットもアザレンカ選手に2ゲームを先取され、後に「このまま1時間もたずに負けたらすごく恥ずかしいと思った」と語った大坂選手は、ここから強烈なフォアハンドで巻き返しをはかり、3つのブレークを奪って第2セットを取って試合を振出しに戻したのです。

第3セットは勢いに乗った大坂選手がゲームカウント4－1とリードしますが、追いすがるアザレンカ選手に第7ゲームをブレークされて4－3になってしまいます。しかし、直後のゲームをブレークバックした大坂選手は第9ゲームでチャンピオンシップポイントを取り、2度目の優勝を手にしました。

聖火の最終ランナーを務め日本を代表するアスリートに。

大坂なおみ選手が日本人選手として初めてグランドスラムを制覇した2018年の全米オープン、2019年の全豪オープンに続く、3度目の優勝を果たしたことは、コロナ禍によって閉塞感の蔓延した日本のスポーツファンにとって喜ばしく、誇らしいニュースでした。

さらに、翌2021年の全豪オープンでは準決勝でセリーナ・ウィリアムズ選手、決勝でジェニファー・ブレイディ選手をストレートで下し、圧倒的な強さでグランドスラム4勝目を挙げました。

1年間延期となった結果、2021年7月23日に開幕した2020東京オリンピックの開会式において大坂選手が最終聖火ランナーに選ばれ、聖火台に点火したのは記憶に新しいことでしょう。

2022年のシーズン幕開けとなったWTAメルボルン・サマー・セット1ではベスト4まで勝ち進みましたが負傷のため準決勝を棄権し、全豪オープンでは3回戦進出にとどまり連覇を逃しました。しかし、試合後に大坂選手は「すべてのポイントでファイトできたことを自分自身の誇りにしたい。次にプレーするどんな大会でも、本当にポジティブに臨めると思う」と語りました。大坂選手の挑戦し続ける姿は、多くの人々に夢と希望を与えているのです。

©IMG

Naomi Osaka

1997年10月16日生まれ。大阪府大阪市出身。身長180cm。右利き、バックハンド・ストロークは両手打ち。
日本人の母親とハイチ系アメリカ人の父親を持ち、3歳の時にニューヨーク、アメリカに移る。2013年にプロに転向。2016年の全豪オープンテニスでグランドスラム本戦初出場を果たし、3回戦に進出。全仏オープンテニス、全米オープンテニスでも、3回戦進出。2018年の全米オープンで日本のテニス選手として初となるグランドスラム優勝を果たす。翌2019年の全豪オープンに優勝して、アジア人として初の世界ランキング1位となった。2020年には全米オープン優勝、2021年の全豪オープンにも優勝してグランドスラム4勝目を挙げた。

■2020年の成績

大会	グレード	成績
ブリスベン国際	プレミア	ベスト4
全豪オープン	グランドスラム	3回戦
ウェスタン&サザンオープン	プレミア5	準優勝
全米オープン	グランドスラム	優勝

■2020年　全米オープン決勝　結果

大坂なおみ	1	6	6
ビクトリア・アザレンカ	6	3	3

2020年度の優秀選手に選出されたことに対する大坂選手のコメントをご紹介します。

「2020年度、日本プロスポーツ協会の優秀選手に選んでいただきまして、ありがとうございます。日本プロスポーツ協会の皆さま、そして私のファンの皆さまに改めて感謝いたします。

受賞された選手の方々には、過去にさかのぼって私が知っている選手、テレビで見たことがある選手を含めて、たくさんの素晴らしい選手が名前を連ねていて、その中に私も選んで頂いたことをとても光栄に思います。

2020年から今に至るまで、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの方々が困難な時間を過ごしていると思います。私自身、できる限り多くの人たちの助けになるような活動ができればと思っています」

令和２年度

優秀チーム紹介

福岡ソフトバンクホークス

（プロ野球）

かつてない厳しいシーズンをチーム一丸となって闘い抜き パ・リーグ史上初の４年連続日本一に。

コロナ禍に翻弄されながらも１００パーセントの力を出し切る。

「今年、コロナ禍という中で選手たちはコンディションを維持するのが大変だったと思います。６月19日に開幕して、すごく大変なスケジュールでも選手たちは１００パーセントの力で戦ってくれました」

２０２０年11月25日に行われた日本シリーズ第４戦で読売ジャイアンツに勝利し、パ・リーグでは史上初の４年連続日本一を達成した福岡ソフトバンクホークスの工藤公康監督は、優勝共同会見の席で選手たちの健闘を称えました。ホークスファンにとって、記憶に残るシーズンとなった２０２０年はプロ野球界だけでなく、社会全体が新型コロナウイルスに翻弄された１年でした。

開幕延期や無観客試合などイレギュラーずくめのシーズン。

２０２０年のプロ野球レギュラーシーズンは、国内で感染が広がるなか、３月20日に予定していた開幕を６月19日に延期し、試合数も当初予定されていた１４３試合から１２０試合に減らすことを余儀なくされたのです。また、７月10日まで試合は無観客で行われ、オールスターゲームも中止になりました。

クライマックスシリーズを制し、4年連続20度目となる日本シリーズ進出を決める。2020年11月15日

パシフィックリーグのタイトルを獲得。2020年10月27日

こうして、選手にもファンにも経験したことのない厳しいシーズンの幕開けとなった2020年。それは、福岡ソフトバンクホークスにとっては球団名が変わって15周年の節目となる年でした。2017年から3年連続で日本シリーズの覇者となったホークスの目標。それはリーグ優勝を果たしたうえで4年連続の日本一を達成することです。しかし、新型コロナウイルスの影響により外国人選手が開幕に間に合わず、打撃陣の不信も重なって、いいスタートを切ることができませんでした。

さまざまな記録に彩られたリーグと日本シリーズの完全制覇。

7月に開催予定だった2020東京オリンピック・パラリンピックは1年延期になりましたが、ここにきてホークスは投打がかみ合い勝ち星を重ねていきます。6月末には首位ロッテと4・5ゲーム差の5位だった順位も浮上し、7月22日に初めて1位になると、その後大きく崩れることはありませんでした。ロッテの猛追を受けながら、8月23日以降は首位を守り続けたのです。

10月27日の試合で2位ロッテに勝利したホークスは14ゲーム差という圧倒的な強さで3年振りのパ・リーグ優勝を決めました。10月は22勝を挙げ、月間勝利数と月間貯金18のプロ野球新記録を達成しています。

11月9日にパシフィック・リーグ公式戦の全日程が終了。千賀滉大選手が投手3冠（最多勝・最多奪三振・最優秀防御率）に輝き、周東佑京選手が50盗塁で盗塁王を獲得したほか、最多安打のタイトルを獲得した柳田悠岐選手が2度目のパ・リーグMVPに選出されました。

ホークスはシーズン終盤の勢いのままクライマックスシリーズを制し、負けなしで日本シリーズを勝ち抜きました。日本シリーズにおける2年連続の4勝0敗も史上初の快挙です。

医療従事者やファンに支えられて戦い抜けたことを感謝したい。

日本シリーズの優勝会見で工藤監督はチームを支えてくれた人々に感謝し、それに報いようとした選手たちの想いが結果につながったと語りました。

「我々がこうして開幕を迎えることができて、野球ができたのも医療従事者やNPBの方々のご尽力、そして球団も対策を練ってくれたから。まずはその皆さんに感謝です。そして、その中で選手たちが厳しいスケジュールを戦い抜き、ホークスらしい野球をファンの皆さんに届けよう、応援に恩返しをしようと思ったことがリーグ優勝と日本一につながったと思います」

そして、厳しいシーズンと向き合った自らの想いと、収穫について言葉を続けました。

「王会長の強いチームにしたいという想いを、秋山監督、私と受け継いできたつもりです。プレッシャーもありましたが、楽しみな部分もありました。MVPの栗原くんが開幕からスタメンを勝ちとり、周東君も途中からレギュラーになり成長していった。成長して行く若い彼らを見るのが楽しみだったし、苦しい中に楽しみも増えていったシーズンでした」

コロナ禍の中でチーム一丸となって4年連続日本一を成し遂げたホークス。工藤監督からバトンを託された藤本博史新監督のもと、王座奪還を目指します。

Fukuoka Softbank Hawks

■4年連続日本一の軌跡

日本シリーズ戦績

		勝	分	勝	
2017年	ソフトバンク	4		2	DNA
2018年		4	1	1	広島
2019年		4	0		巨人
2020年		4	0		巨人

シーズン成績

年度	順位	試合数	勝	負	分	勝率	首位とのゲーム差	打率	本塁打数	防御率
2017	1	143	94	49	0	.657	—	.259	164	3.22
2018	2	143	82	60	1	.577	6.5	.266	202	3.90
2019	2	143	76	62	5	.551	2.0	.251	183	3.63
2020	1	120	73	42	5	.635	—	.249	126	2.92

日本プロスポーツ大賞の歴史 Part 1 1968~1974

歴代の大賞受賞者

History of Japan Pro Sports Awards

ごあいさつ

自由民主党副総裁　川島正次郎

'68プロスポーツ祭りの開催にあたり御挨拶を申し上げます。

本年8月27日に世界でも例のない日本プロスポーツ会議の結成をみたことはプロとアマとを問わず、わが国のスポーツ隆盛のために非常に意義のあることと喜んでいた矢先に、この催しが開催されると言う事は大変意義の深いものであります。

今回限りでなく、毎年続けて開催し、日本プロスポーツ会議がより発展することを祈ってやみません。

—2—

参議院議員　日本プロスポーツ会議会長　八田一朗

今回'68年度日本プロスポーツ大賞をはじめとする四賞が制定され、本日ここに授賞の式典を行いますことは御同慶の至りであります。ことに大賞には内閣総理大臣杯が授与されることゝなりましたことは、国による表彰を意味するものでありまして、プロスポーツ全般の社会的な責任は一層重大になつたことゝ存じます。

日本プロスポーツ四賞の選考が本会議内部の総意によりましたことは、結成以来三ヶ月にすぎない本会議も、これを以てあらゆるプロスポーツ界が横の連絡協調の実をあげた一つのあらわれであります。

式典のあと、すべてのプロスポーツ界の花形諸君が一堂に会し、賑やかなお祭りを行いますことは今までに例のない催しで、これを天下の恒例呼物行事として、今後益々発展させようではありませんか。

■'68プロスポーツ大賞及び三賞授賞選手

大賞　ボクシング　西城正三

1968年度における、日本プロスポーツ界最大の功績者として、プロボクシング世界フェザー級チャンピオン西城正三選手が選ばれたことは、当然のことといえよう。

わずか一年前には泣かず飛ばずのボクサーだったにもかかわらず、単身渡米して血のにじむ努力をつづけ、9月27日、ロサンゼルスで世界チャンピオン、ラウル・ロハス（アメリカ）を破って世界の王座についた大殊勲は、全世界を驚倒させた。

すなわち西城選手は、ひとりボクシング界だけでなく、日本のプロスポーツ界の実力を世界に誇示し、名声を高揚した点において、まことに大賞に値する偉大なるスポーツマンである。

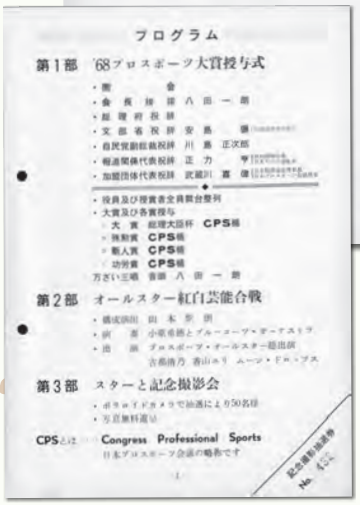
埼玉県出身　21歳

殊勲賞　玉乃島　正　夫（相　撲）
〃　江　夏　　豊（野　球）
〃　沢　村　　忠（キック）

新人賞　アントニオ猪木（日本プロレス）　安田光春（キック）
高田　繁（野　球）　島田幸作（ゴルフ）
竜　虎（相　撲）　藤巻　昇（競　輪）
江藤義昭（ボクシング）　島田守孝（オートレース）
木村政雄（国際プロレス）　香川なぎさ（日本女子プロ）

功労賞　藤本定義（野　球）
中村寅吉（ゴルフ）
吉村道明（日本プロレス）
豊　登（国際プロレス）
小林　弘（ボクシング）
若林省三（スキー）
林　善衛（オートレース）
松本勝明（競　輪）

—3—



プログラム

第1部　'68プロスポーツ大賞授与式

第2部　オールスター紅白芸能合戦

第3部　スターと記念撮影会

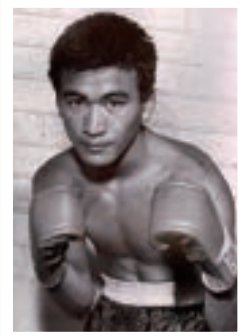
CPSとは…Congress Professional Sports

授賞式で配布されたプログラム。
当時は「プロスポーツ祭り」という名称でした。

第1回 1968年（昭和43年）

大賞

西城　正三
（プロボクシング）



1968年9月、ロサンゼルスでWBA世界フェザー級王者のラウル・ロハスに挑戦し、15回判定で勝利。日本人で初のボクシング世界王座を奪取しました。

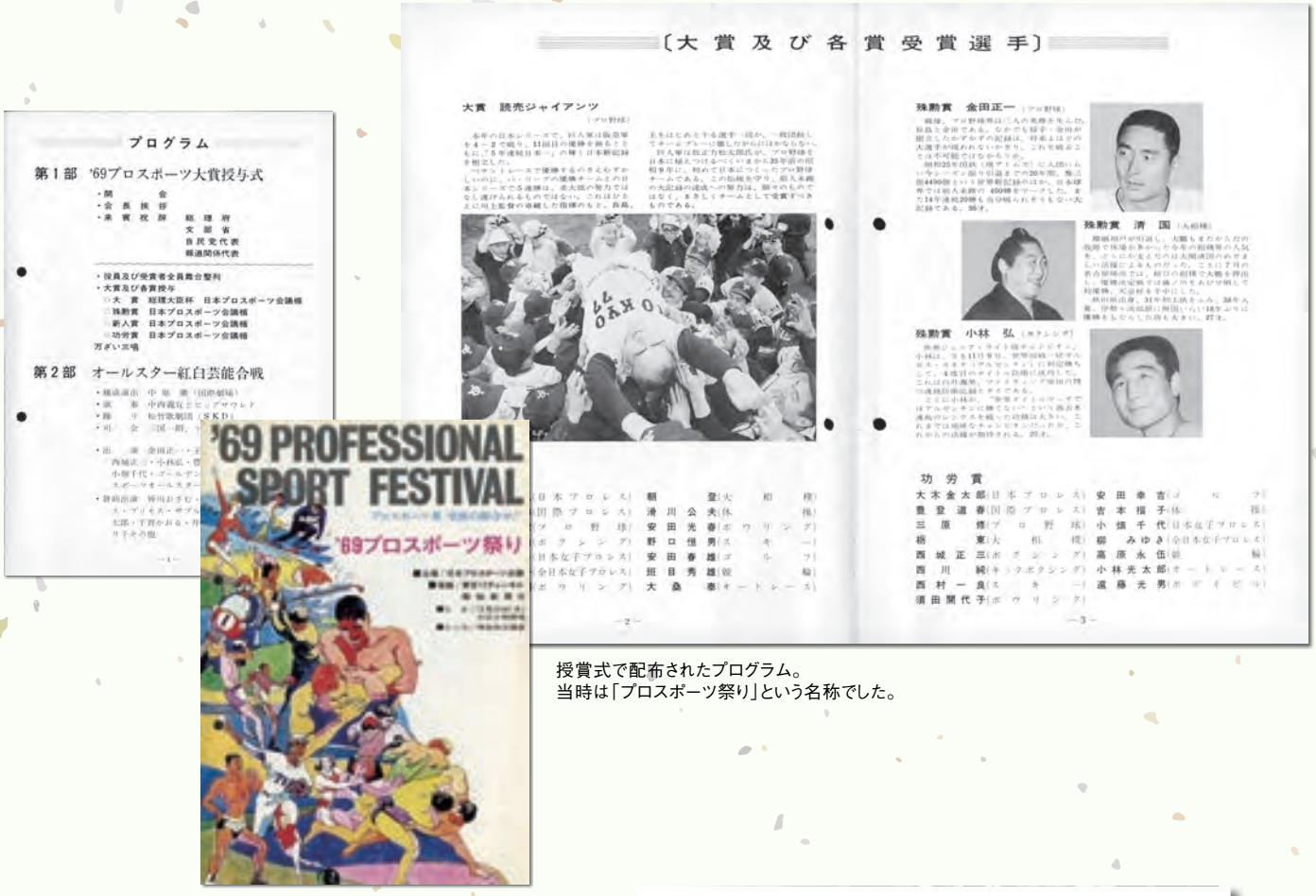
殊勲賞

玉の海　正夫（大相撲）
江夏　豊（プロ野球）
沢村　忠（キックボクシング）

主な出来事

1月：東大安田講堂の攻防で逮捕者600人以上
3月：NHK-FM放送開始
5月：東名高速道路が全面開通
7月：アポロ11号が人類初の月面有人着陸に成功
8月：アメリカでウッドストック・フェスティバル開催
11月：巨人が5年連続日本シリーズ制覇

日本プロスポーツ大賞は、我が国のプロスポーツ界の発展と振興に寄与するために
1968年（昭和43年）に第一回の表彰が行われました。
それから50年以上にわたって、プロスポーツ界で活躍する全ての選手及びチームの中から選ばれた
大賞受賞者に内閣総理大臣杯を贈り、その功績を称えてきました。
今回は第一回の1968年から1976年までの大賞と殊勲賞の受賞者をご紹介します。
主な社会の出来事と合わせて、ヒーローたちが活躍した時代の熱狂と感動を思い出して懐かしんでください。



授賞式で配布されたプログラム。
当時は「プロスポーツ祭り」という名称でした。

第2回

1969年（昭和44年）

大賞

読売巨人軍
（プロ野球）

川上哲治監督の就任から9年目のシーズンとなる1969年において、10月に5年連続セ・リーグ優勝。11月にはパ・リーグ覇者の阪急ブレーブス（当時）と日本シリーズで戦い、4勝2敗で日本一に輝きました。

写真：読売新聞／アフロ

殊勲賞

金田 正一（プロ野球）
小林 弘（プロボクシング）
清国 忠雄（大相撲）

主な出来事

1月：ベトナム戦争が激化し、解放戦線勢力によるテト攻勢開始
4月：マーティン・ルーサー・キング暗殺
6月：ロバート・F・ケネディ暗殺
6月：都営地下鉄1号線（現：都営地下鉄浅草線）大門駅－泉岳寺駅間開通
6月：小笠原諸島が日本に復帰
10月：川端康成がノーベル文学賞受賞

第３回

1970年（昭和45年）

大賞

大鵬　幸喜

（大相撲）

1956年の初土俵から1960年に新入幕、1961年に第48代横綱昇進。1969年5月場所で30回目の優勝を達成した功績により、日本相撲協会から一代年寄「大鵬」が授与されました。

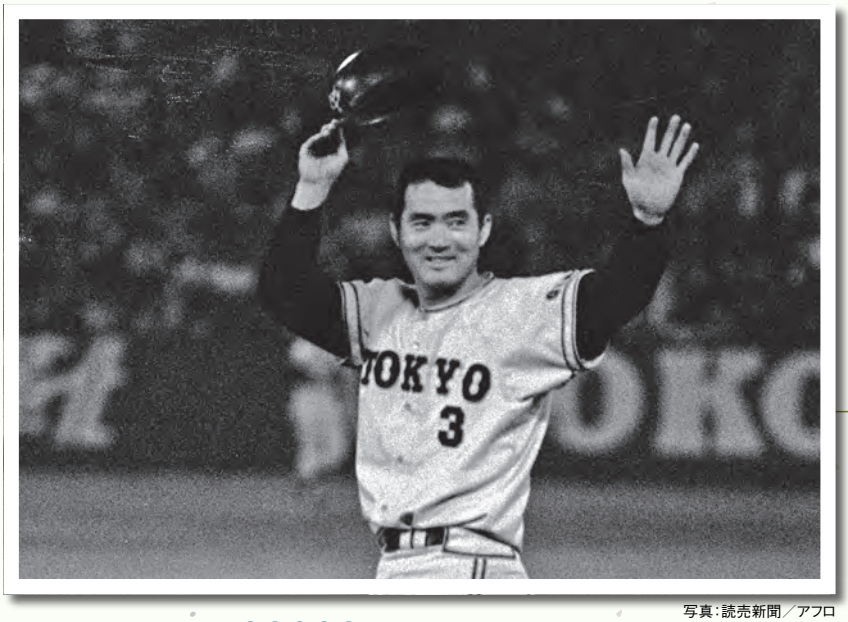
写真：読売新聞／アフロ

殊勲賞

三浦 雄一郎（プロスキー）
小林 弘（プロボクシング）
中山 律子（ボウリング）

主な出来事

2月：日本政府、核拡散防止条約に調印
3月：大阪万博開幕（3月14日～9月13日開催）
3月：日本航空機よど号ハイジャック事件発生
4月：ビートルズ解散
8月：国内で初の歩行者天国が銀座、新宿、池袋、浅草で実施
11月：三島由紀夫が市ヶ谷の自衛隊東部方面総監部にて割腹自決
12月：沖縄で戦後最大の民衆蜂起コザ騒動発生



写真：読売新聞／アフロ

第4回 1971年（昭和46年）

大賞

長嶋　茂雄
（プロ野球）

1971年のシーズンにおいて史上5人目となる2,000本安打を達成。1,708試合での達成は川上哲治氏に次ぐ歴代2位のスピードであり、右打者としては最速の記録です。さらに、35歳での首位打者獲得当時のプロ野球最年長記録でした。

殊勲賞

尾崎 将司（男子プロゴルフ）
大場 政夫（プロボクシング）
長池 徳二（プロ野球）

主な出来事

1月：横綱・大鵬が初場所千秋楽で32回目の優勝。5月に引退
5月：大久保清事件
6月：沖縄返還協定の調印式
7月：マクドナルド日本第1号店が銀座にオープン
7月：自衛隊の戦闘機と全日空の旅客機が、岩手県雫石上空で空中衝突（全日空機雫石衝突事故）
10月：NHK総合テレビが全放送のカラー化を開始
12月：映画会社の大映が倒産

第5回 1972年（昭和47年）

大賞

松本　勝明
（自転車競技）

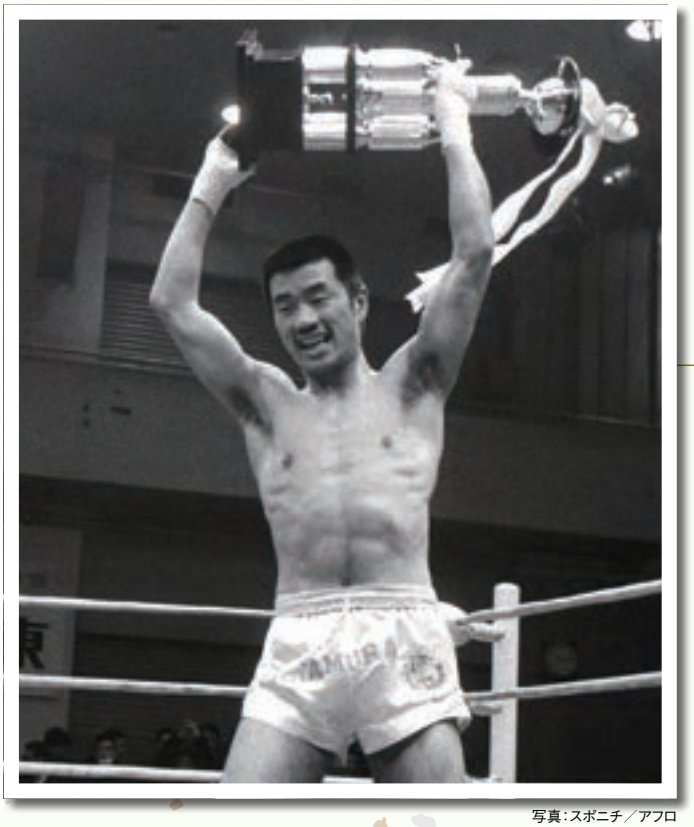
1949年にデビューして、1965年には競輪選手として初めて1,000勝を達成。1972年には通算勝利数1,200勝に到達しました。1981年の引退までに挙げた1,341勝の記録は、今も歴代1位であり競輪の神様と呼ばれるのにふさわしい実績を残しています。

殊勲賞

堀内 恒夫（プロ野球）
大場 政夫（プロボクシング）
坂口 征二（プロレス）

主な出来事

1月：グアム島で元日本陸軍兵士の横井庄一を発見
2月：札幌オリンピック開催（2月3日～13日）
2月：連合赤軍によるあさま山荘事件
4月：川端康成がガス自殺
5月：大阪・千日デパート火災が発生し死者118人
5月：沖縄返還され沖縄県が発足
5月：田中角栄首相が訪中して、日中国交正常化の共同声明



写真：スポニチ／アフロ

第６回
1973年（昭和48年）

大賞

沢村　忠
（キックボクシング）

1966年の日本キックボクシング協会設立時から活躍し、真空飛び膝蹴りを武器に圧倒的な強さと人気を誇り「キックの鬼」と呼ばれていました。マンガやアニメにも描かれ、1976年に引退するまでキックボクシングブームの中心的なスターでした。

殊勲賞

輪島 功一（プロボクシング）
阿部 道（自転車競技）
王 貞治（プロ野球）

主な出来事

1月：ベトナム和平協定
4月：祝日法改正により振替休日制が導入
7月：日本赤軍によるドバイ日航機ハイジャック事件発生
8月：金大中事件
10月：オイルショックによる買い占め騒ぎ
10月：江崎玲於奈のノーベル物理学賞受賞が決定
11月：巨人が日本シリーズ9連覇（V9）達成

第７回
1974年（昭和49年）

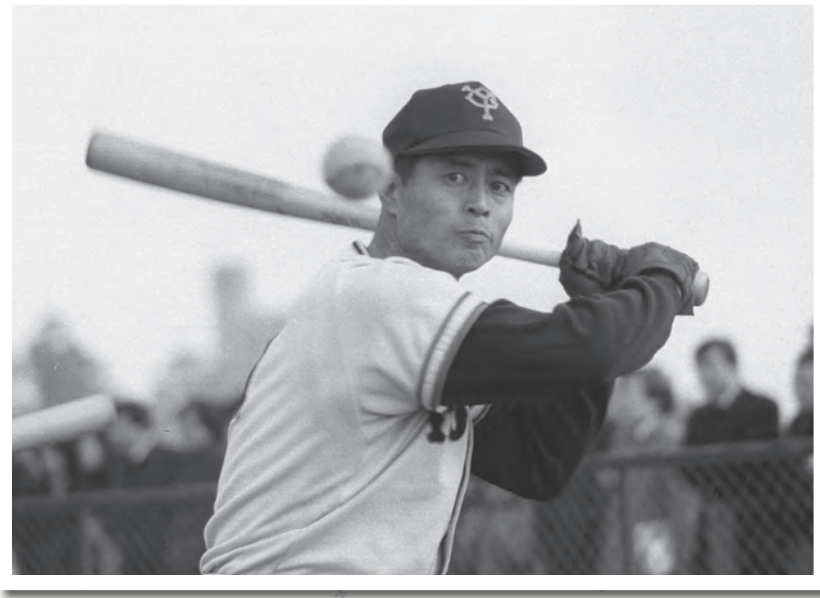
大賞

王　貞治
（プロ野球）

1973年のシーズンで通算2,000本安打を達成。さらに打率.332、49本塁打、107打点で史上初となる2年連続三冠王を獲得しました。この年は四球と敬遠に加え、出塁数、長打率も日本プロ野球のシーズン最高記録を更新しています。

殊勲賞

柴田 国明（プロボクシング）
北の湖 敏満（大相撲）
尾崎 将司（男子プロゴルフ）



写真：読売新聞／アフロ

主な出来事

3月：ルバング島で小野田寛郎元少尉を発見
5月：伊豆半島沖地震が発生し30人が死亡、102人が負傷
7月：北の湖が史上最年少（21歳2か月）で第55代横綱昇進
8月：ウォーターゲート事件でニクソン米大統領辞任
9月：日本赤軍がオランダ・ハーグのフランス大使館を占拠
10月：佐藤栄作前首相のノーベル平和賞受賞が決定
10月：巨人軍の長嶋茂雄選手が引退
12月：金脈問題で田中角栄首相辞任

つぎの新へ。

新幹線は進み続ける。時代の先を。道なき道を。
フォルムも、速さも、快適性も、安全性も。
乗り方だって、手元のデバイスでピッとスマートに。
人と人、町と街をつなぎながら、
みんなの想像を追い越して、次の当たり前を創っていく。
次はどこへ行こう。何をしよう。
あなたを乗せて走る、その目の前には
いつだって新しい地平が広がっている。
きょうも未来へ急ぎます。どうぞごゆっくり。

新幹線イヤー 2022

SHINKANSEN YEAR

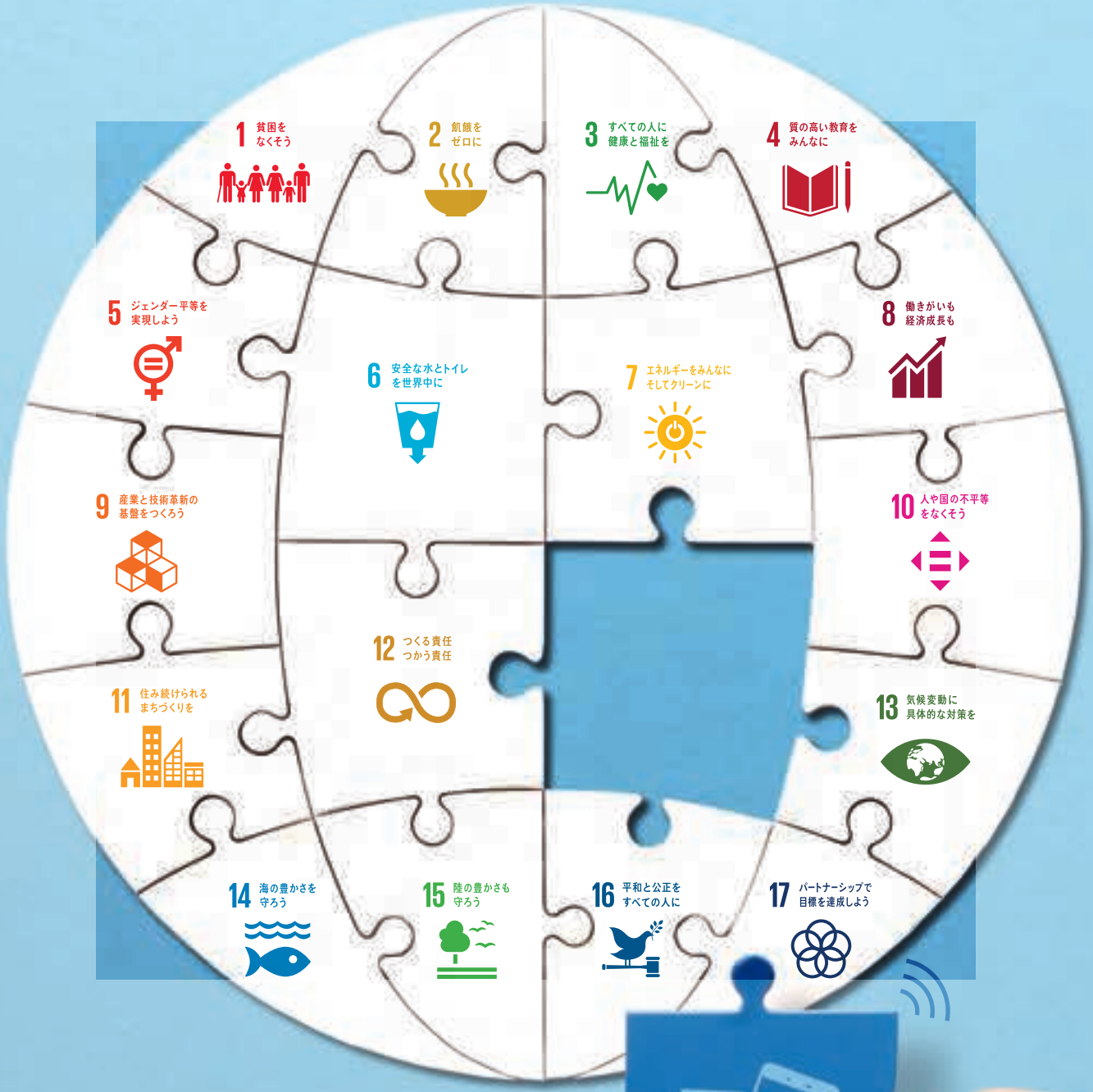
JR東日本

2022年、JR東日本の5方面の新幹線はそれぞれ周年を迎えます。

- 25周年 秋田新幹線（盛岡－秋田）
- 40周年 東北新幹線（大宮－盛岡）
- 30周年 山形新幹線（福島－山形）
- 25周年 北陸新幹線（高崎－長野）
- 40周年 上越新幹線（大宮－新潟）
- 20周年 東北新幹線（盛岡－八戸）

NTT

ICTで未来の地球をつくる。
さまざまなパートナーとともに。



私たちNTTグループは、
持続可能な社会の実現に向け、
さまざまなパートナーと協創し、
ICTを活用してSDGsに取り組んでいきます。

NTT × SDGs → Future

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

https://group.ntt